

平成 18 年 2 月 1 日

各 位

株式会社ファルコバイオシステムズ
京都市中京区河原町通二条上る清水町346番地
代表取締役会長兼社長 赤澤 寛治
(コード番号：4671 東証・大証各第一部)
問い合わせ先：IR広報室長 長谷川 洋
電話(075)257-8501

「東海中央研究所」の新設について

当社は、医療の発展に伴う研究開発の促進と、受託数が増加傾向にある東海地域の検査体制強化ならびに災害発生時のリスク分散などを目的として、新たに基幹研究所「東海中央研究所」(名古屋市守山区)を新設することになりましたのでお知らせ致します。

なお、「東海中央研究所」では、このたび開発した緊急検査連動型検査システム「e FAL2006」(下記)を導入致します。本システムは、今後の基幹研究所・地域ラボの新設や再編、小規模または門前型ラボを開設する際などにおいて迅速かつスムーズな稼働が実現し、当社グループにおける営業エリアの拡大、M & A時の迅速な対応および検査体制の充実ならびに競争力強化、原価低減化、地域医療のサービス向上につながるものであります。

記

東海中央研究所の新設について

1. 設置背景と目的

東海中央研究所の新設を検討するに際しては、東海地域における検体数の増加を受け、同地域での検査能力の増強を図る必要が生じていること、ならびに研究開発力を強化するには新たな基幹となる研究所の構築が必要となったことなどによります。

なお、東海中央研究所の稼働と同時に、現在の名古屋研究所は一部改修の上「名古屋ラボ」として、緊急検査を主体とした業務に特化する予定であります。

2. 施設の概要

- | | |
|----------|---|
| 1) 名 称 | 東海中央研究所 |
| 2) 建設予定地 | 名古屋市守山区 |
| 3) 稼働予定日 | 平成 19 年 7 月頃 |
| 4) そ の 他 | 設備投資の総額は約 20 億円程度を見込んでおります。その他詳細につきましては、決定次第お知らせ致します。 |

「e FAL2006」とは?

「e FAL」とは、excellent [優れた] FALCO システムの略称で、その改良型が「e FAL2006」です。

当社の一部の検査施設では、設備機器、検査の進め方、精度管理手法、ホストコンピュータへのデ

ータ取り込み方法などが他の検査施設と異なり、業務の煩雑化が生じるケースや新設ラボの開設時において多くの労力と時間が必要でありました。

しかしながら「e FAL2006」システムの開発により、このような弊害、施設間差が限りなく縮小され、また規模の大小にかかわらずより広範囲の検査が可能となります。そのほかの特徴としては以下のとおりであります。

- 1．近年の通信回線の高速化・大容量化により、「1ラボ1サーバー」から「複数ラボ1サーバー」対応が可能となり、従来のシステムではあらかじめ登録されたラボでしか検査ができなかったものが、当社グループ内のどのラボでも実施が可能となるため、災害発生時などにおいて緊急避難的な対処が可能となる。さらにサーバー設置場所の縮小、コスト低減などのメリットがある。
- 2．システムの標準化により、小規模ラボでも緊急検査以外の一般的な日常検査も実施可能となる。
- 3．バーコードによるランダムアッセイ(検体毎の無作為検査)が可能で、緊急検査に対応できる。
- 4．リアルタイムの精度管理、自動データチェック、工程・進捗管理などの機能が搭載され、品質管理の向上とミス防止に繋がる。
- 5．ログイン・パスワードおよび権限機能による個人情報漏洩の未然防止、外部からの侵入による改竄防止等を図ることができる。
- 6．その他

以上